

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	35	数件の看取り経験はあるものの、最近では医療機関の連携の下で対応することが多く、終末期の看取りまでは考えていなかった。今はターミナルケアを病院から自宅や施設という方向になりつつあり、当グループホームとしてもその時に備えて、研鑽を積まなければならないと思われる。	提携医とは夜間でも連絡体制の協力が得られ、対応は出来ているものの、今後も想定される看取り支援に対応できるようにターミナルケアについての研修や勉強会を行い、施設としてのスキルアップを図る。	ターミナルケアについての研修案内があった時には積極的に参加したい。最低でも外部研修を年に1回以上、内部研修をその報告の形で1回以上実施し、看取りに関する心構えと、実力を身に付け将来の看取り支援に備える。	12 か月	
2	14	最近では人権学習の外部研修をほとんど受講しておらず、内部研修で行っている程度。人権問題も範囲が広く、入居者のプライバシー保護や、虐待防止、抑制など、入居者を対象とした勉強会や研修は行っているものの、差別、同和問題といったものの勉強が不足していると思われる。	差別や同和問題などの研修・勉強会を最低でも1年に1度は行うようにしたい。	添田町には各種の人権に関するCDが揃えてあるので、用途により借用したビデオによる勉強会を行ったり、人権団体の出前講座などを活用し、知識を深める。	12 か月	
3	2	事業所と地域との付き合いは、地域のボランティアの活用や、夏祭りなどの法人を主体としたイベントや地域のお祭りでの神輿の訪問などがあり、法人としての交流はあるものの、グループホームとしての地域に向けての啓もう活動や情報発信が不足している。	グループホームはどういった施設なのか、どういった方が入居できるのかなど、知らない方も多くいると思われる。そういった、地域の住民を対象とした啓もう活動を行いたい。	2ヶ月に1度運営推進会議があるので、その中のテーマとして、グループホーム添寿の里としての啓もう活動の在り方を話し合い、地域の代表の方の協力を得て、地域に向けての認知症等の啓もうや情報発信を行う。	24 か月	
4	37	火災時の避難訓練を2回/年、地震や風水害の災害時の避難訓練を1回/年行っているものの、添寿の里での単独訓練であり、地域の協力体制が不足している。	地域住民や近隣施設を巻き込んだ避難訓練を1回/年は実施し、職員の能力を高める。	運営推進会議の場での話し合いや、ご家族の殆どが参加される家族会の場で、問題を提議し話し合い、協力体制の構築を図り、2年以内には1回/年の地域の人を交えた避難訓練が実施できるようにしたい。	24 か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()